

放課後等デイサービス 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月16日

事業所名:多機能型事業所 つばめ療育館

保護者等数(児童数)26名(26名)、回収数 24名、割合 92.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・中学・高校生には狭いと思います。 ・年齢が大きい子どもたちが活動するには、やや狭く感じるのかもしれませんが。 ・確認できず。確認する方法を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所を児童発達支援と放課後等デイサービスとで分け、それぞれの効果的な療育活動に適した環境を用意しています。 ・学校の長期休業日は、活動時間が重複し、玄関、トイレ、静養室の共有であることや室温の漏れ等で支援環境に影響が生じます。このため、放課後等デイサービスに外出活動やプール活動(夏休み)を取り入れ、事故なくお互いの活動に支障が生じないように配慮しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できず。確認する方法を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師である発達支援コンサルタントから定期的に専門的な評価を行い、併せて作業療法士、言語聴覚士、保育士等による専門的な視点を集結し、個々の課題に沿った支援を提供しています。 ・毎年、数名の指導員を発達支援コンサルタントが主催する100時間程度の専門研修を受講させています。これにより、医療的な基礎知識も学び、保護者等に対し家庭でもできる発達支援の根拠・手技を伝達できるライセンスを取得しています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内はバリアフリー化され、玄関内側の床はグレーと赤で識別しています。赤の部分にフロアマットを敷き、マット上で靴の脱ぎ履きをしてもらえるように玄関ドアにイラストを貼付しています。 ・ハード面ではスロープ・手すり・点字ブロック、車いす用トイレ等を整備しています。
④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	23	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できず。確認する方法を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングの時や保護者のお迎え時等にお伺いし、ニーズの把握に努め、放課後等デイサービス計画への反映に努めています。 	

適切な支援の提供	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	5	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が好きな遊びや運動をしている事が多い。出来ない事もやらせてみて欲しい。 ・長期休みの時など、生活に役立つ活動などあるともっといいと思う。(スーパーに買い物など) ・確認できず。確認する方法を知りたい。 ・日々の活動、課題プログラム内容が、計画のプランを達成する内容なのかと思うことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すところは一緒であっても、利用者の年齢や能力に応じた個別支援に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。 ・長期休校時には、外出活動やプール活動(夏休み)を織り交ぜて、メリハリのある支援に努めています。 ・外出先には、感覚統合の効果を高めるボルタリングを設置した大曲分館を整備しました。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	11	10	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いた事がないです。 ・活動しているかが分からない。 ・確認できず。確認する方法を知りたい。 ・必要ないと思います。 ・分からないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差はありますが、障害のない子どもとの交流については、現利用者の現況等で判断すると、必要性を感じていません。 ・社会性の前に自立力向上の課題が優先すると考えています。たとえば、スーパーに買い物に出掛けたり、散歩で公園等に出掛けたり、そこに来ている人たちと自然な形で触れ合うことができるような場面などから取り入れていければと考えています。
	⑦	運動(感覚統合)は安全面に配慮された上で楽しく活動でき、かつ身体機能が改善されたか	22	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できず。確認する方法を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な専門遊具を使用することのリスクを想定し事故防止に努めています。 ・「順番を守る」「利用者の特性に応じる未然防止体制」「遊具の出し入れによる安全スペースの確保」等、徹底して安全面を重視しています。 ・運動課題(感覚統合)は、土台となる身体を調和した後に行い、必要な感覚を獲得しやすくなる等の改善効果を高めています。実績として、改善ケースが増えてきています。 ・トランポリンだけでなく、平均台、スイング、ハンモック等感覚統合に活用する様々な遊具があります。利用者個々の特性に合わせたプログラムを組み、支援しています。

無回答1

適切な支援の提供	⑧	机上課題はその子どもに見合った内容で用意され、楽しく意欲的に取り組んでいるか	21	2	1	・確認できず。確認する方法を知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の年齢や能力に応じた机上課題に心がけています。 ・具体的な改善効果に着目し、たとえば、変化がみられないようなら、課題の着眼点を変更しています。 ・個々の目標を達成するためには、成功体験の積み重ねが大切です。できるだけ固定化しないように、興味のある活動を盛り込みながら柔軟に対応しています。
	⑨	身体調和支援(マッサージ)で子どもの変化が見られているか	16	8	0	・町村先生に体を年一回以上観てアドバイス頂けると説明されたが、二年以上個別はなし。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体調和支援(マッサージ)により、発達の土台となる生活しやすい身体づくりを行っています。これは、運動課題(感覚統合)、個別課題の改善効果を高めることに繋がります。繰り返すことで脳の発達を促し、運動機能、認知・言語機能、社会性の改善を目指してまいります。 ・発達支援コンサルタントによる定期評価は、事業所の拡充に伴う利用者増で、定期的な評価が困難な状況となりました。方針としては、児童発達支援の利用者を優先とし、放課後等デイサービスの利用者は希望制とさせていただきました。
保護者への説明等	⑩	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1	0	・支援でのアセスメントがあれば、連絡帳に書いて頂けると分かりやすい。	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時や利用開始の契約時に、丁寧に説明を行っています。 ・日々の支援内容は、連絡帳の記載を工夫して、分かりやすくお知らせできるように努めてまいります。
	⑪	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも子供の状況のようなグチのような話を聞いていただいて申し訳なく、そしてありがたく思っています。また、ちょっとした疑問にも調べて回答いただけるので、ありがたく思っています。 ・いつもお時間頂き、子どもについての話を丁寧に聞いて頂けて感謝しています。子どもの困り感を共感してもらえる方が多くいて、理解してもらえることでとても救われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者とは、お迎え時にお話をさせていただいたり、連絡帳、電話、メール等で利用時の状況や課題について随時連絡を取り合っています。

保護者への説明等	⑫	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・育児や各医療関係への助言は他に比べ、少ないかもしれない。 ・いつも子供の状況のようなグチのような話を聞いていただいて申し訳なく、そしてありがたいと思っています。また、ちょっとした疑問にも調べて回答いただけるので、ありがたいと思っています。 ・いつもお時間頂き、子どもについての話を丁寧に聞いて頂けて感謝しています。子どもの困り感を共感してもらえる方が多くいて、理解してもらえることでとても救われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時や送迎時に、保護者からお悩みや課題の相談に対しては、個人で判断せず、チームでの方針のアドバイスをお伝えすることを原則としています。
	⑬	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	11	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところないと思う。 ・必要ないと思いますが、但し、就学前に経験者の方がお話されるのはとても参考になるので、いい事だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に父母の会や保護者会等の開催はありません。今後、必要があれば発達支援コンサルタントの助言をもらえる意見交換会等を企画し、懇談の場を設けてまいります。 ・進学や卒業に備える時期等に、発達支援コンサルタント及び教育委員会指導主事の助言をもらえる意見交換会等を企画し、懇談の場を設けています。
	⑭	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	3	0		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対しては真摯に受け止め、速やかに事業所内で検討して対応させていただき、改善に努めています。 ・モニタリング等の機会や、日常的な相談にも迅速にお応えするように心がけています。 ・苦情は関係部署と協議の上、速やかに対応し、毎年、ホームページで苦情の状況について公表しています。
	⑮	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、口頭で伝わりにくい場合は、メールでのやり取りを行っています。 ・利用者には、絵カード等を用いて視覚からの情報伝達を行っています。
	⑯	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・確認できていない。 ・ホームページは見たことないです。見てみます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月会報は発行し、近々の情報をお伝えしています。 ・ホームページ等で活動の様子や講演会の開催等を発信しています。
	⑰	個人情報に十分注意しているか	22	2	0		<ul style="list-style-type: none"> ・施設で保管している個人情報については厳重に管理し、内部研修や朝のミーティング時にも取り扱いについて注意喚起を促しています。今後も、継続的に注意を促してまいります。

非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを作成し、所内に要点の掲示や閲覧ができるように設置しています。 ・保護者に対しては、マニュアルを特に強制的に周知はしていません。 	無回答2
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動しているか分からない。 ・確認できず。 	
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	19	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行くのを毎回楽しみにしています。 	無回答2
	㉑	事業所の支援に満足しているか	21	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。 	無回答2

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。